

11 月定例記者会見会議録

2019（令和元）年 11 月 5 日（火）午後 2 時～
市役所本庁 4 階 406 会議室

1. 市長からの発表

皆さん、こんにちは。

秋も深まり、朝夕はめっきり涼しくなってきました。周囲の山々も美しく彩られ、秋の行楽シーズンを迎えます。芸術、スポーツ、食など、伊賀の秋を十分に満喫してもらいたいと思います。

さて、先週木曜日（11 月 31 日）ですが、首里城焼失という大変残念なニュースがありました。早朝から、消防車両およそ 60 台、230 人が消火に当たりましたが、およそ 11 時間後に鎮火し、正殿を全焼するなど、7 棟でおよそ 4,200 m²を焼いたとのこと。世界遺産・首里城跡の 30 年に及ぶ復元工事を今年 1 月に終えたばかりで、沖縄の皆さんのシンボルであり、歴史や文化の拠り所ともいべき財産が焼失したことは残念であろうと思います。この報道を受け、私たちとしても、郷土の文化財をしっかりと守れるよう、所有者・管理者に注意喚起をお願いしたところです。

本日の私からの発表ですが、6 件あります。

資料No.1 の「伊賀市本庁舎総合消防訓練の実施」についてです。

11 月 19 日（火）午後 1 時 30 分から、伊賀市役所本庁舎の総合消防訓練を行います。

本庁舎で放火による火災が発生したことを想定し、人命を最優先に守るため、組織的な活動を行うとともに、関係機関と相互協力して被害を最小限に抑えることを目的に行います。

訓練は、1 階正面玄関付近で何者かが液体をフロアに撒き放火したという想定で、屋内消火栓での初期消火訓練や防火シャッターの操作、はしご車による 5 階からの救助訓練などを行います。

総合訓練終了後には、個別訓練として、消火器の取扱訓練や 3 階のハッチ式救助袋による避難訓練などを行います。訓練は、全体を通しておよそ 1 時間の予定です。

つづいて、資料No.2 の「バス車両ラッピングデザイン（2 台目）及びコミュニティバスの新しい愛称募集」についてです。

上野コミュニティバス「しらさぎ」専用車両は 2 台ありますが、うち 1 台は今年 4 月に忍者のラッピングデザインに更新して運行しています。残る 1 台についても今年度に更新予定です。この度、2 台目のデザインが決まりましたのでお知らせします。2 台目のデザインは、現在走っている車両と統一感を持たせるため、現行バスのデザイン者である「おおえ さき」さんに作成を依頼し、忍者の集団にサーチライトが照らされているようなデザインで、温かみのあるオレンジ系統の色を取り入れております。現在走っている車両のデザインとの比較を楽しんでもらえたらと思います。

そして、来年 4 月から忍者ラッピングバスが 2 台揃って運行を開始することとなり

ます。忍者を活かしたまちづくりをさらに進めるため、平成 15 年（2003 年）の運行開始以降使用してきた愛称「しらすぎ」を一新して、忍者発祥の地にふさわしく、親しみやすい愛称を募集することとしました。

応募は、1 人 1 点とします。詳しい応募要領などは、資料のとおりで、最優秀賞作品 1 点には IGAMONO 認定品をプレゼントいたします。作品選考には、伊賀市若者会議のメンバーにも協力いただき、最優秀賞作品 1 点を決定します。

応募期間は、11 月 15 日（金）～12 月 13 日（金）です。たくさんの応募をお待ちしています。

つづいて、資料No.3の「伊賀市・志摩市交流事業 海の幸・山の幸物産まつり 2019」の開催についてです。

12 月 8 日（日）午前 10 時～午後 3 時、上野丸之内の伊賀市指定文化財「旧上野市庁舎」庁舎前駐車場を会場に開催します。

これは、平成 27 年（2015 年）に伊賀市で「伊勢志摩サミット開催記念 海の幸山の幸物産まつり」を開催して以来、両市で毎年交互に物産まつりを開催しており、今回で 5 回目となります。

伊賀市からは、伊賀ブランドを中心に、市内関係機関及び高校生も参加し約 40 店舗を、志摩市からは 10 店舗を予定しています。

今回は特別参加として尾鷲市からも 3 店舗を予定しています。

また、生産者と消費者との交流の場として、伊賀市・志摩市・尾鷲市の出店者に商品の PR タイムを設ける予定です。

なお、この日、JA いがふるさと直売所施設「とれたて市ひそっこ」では、「とれたて市ひそっこ周年祭」が、ハイトピア伊賀 多目的広場では、「伊賀風土 FOOD マーケット&マーケットノトナリ」が開催されることから、これらのイベントと連携し、会場間を結ぶシャトルバスを運行します。全ての会場を巡っていただいた方には、「景品抽選付きアンケート」を企画するなど、来場者にとって楽しい 1 日を過ごしていただける魅力あるイベントにしたいと思えます。

また、イベント当日の午前 9 時以降に電車・バスなどの公共交通機関を利用して来られた先着 500 人の方には、忍者市駅改札口とバスターミナルで、3 会場共通のお買い物券 500 円をお渡しします。

この事業を通じて、伊賀市・志摩市の魅力を広く市内外に発信し、両市の観光と物産振興を目指したいと考えています。

つづいて、資料No.4の「『女性に対する暴力をなくす運動』に係る伊賀市の取り組み」についてです。

11 月 12 日（火）～25 日（月）は、国が提唱する「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

今、私が着けているのが、女性に対する暴力根絶のシンボルでありますパープルリボンになります。

11 月 12 日（火）午後 5 時、上野城の南側と東側、ハイトピア伊賀の北側を、紫

にライトアップする、「パープルライトアップ」を行います。これは、女性に対する暴力の根絶と、被害者に対して「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められたものです。後日、内閣府のホームページ「全国のパープルライトアップ写真」に掲載されます。

県内では、伊賀市の他に三重県がライトアップを実施します。また、東京タワーや東京スカイツリーなどでも、パープルライトアップが予定されています。

また、午後6時30分からは、伊賀市のゆるキャラ「いが☆グリオ」がパープルリボンを着用して、ハイトピア伊賀エントランス付近で啓発物品を配布します。街頭啓発では、DV防止のメッセージと相談窓口を広く周知します。

つづいて、資料No.5の「点字図書や大活字図書の展示と録音図書の読書体験会の実施」についてです。

障がいのあるなしにかかわらず、文字が読みにくくなった人、そのご家族や支援の人など全ての人に、読書を楽しんでいただくことができる方法をご紹介します。

点字図書や大活字図書の展示は、12月7日（土）～26日（木）、上野図書館玄関入口付近に設置します。

録音図書の読書体験会は、12月10日（火）・11日（水）の2日間、午前10時～午後3時、上野図書館1階奥の大活字本コーナーで行います。

また、上野図書館では、録音図書の貸出申込みや、返却、再生機の貸出申込みもしていただけます。この機会にぜひご来館いただき、点字図書や大活字図書、録音図書を使った読書を体験していただきたいと思います。

つづいて、資料No.6の「伊賀市本庁舎市民ミニギャラリー11月展示」の開催についてです。

先月もお知らせをいたしましたが、今月は、11月23日（土）が奥瀬英三さんの命日にあたることから、「奥瀬英三ミニ回顧展」として、作品を10点展示いたします。

奥瀬 英三さんは、戦前、帝展（帝国美術院展覧会）の審査員、戦後は日展の審査員、参与を務めた上野農人町出身の画家で、地元伊賀においては、大正13年（1924年）に絵画・彫刻を研究する「蒼丘会（社）」を立ち上げ、毎年展覧会を開催されました。奥瀬さんの薫陶を受けた画家として、濱邊万吉さん、松浦莫章さん、中田恭一さんらがおられ、「美術の町上野」を作り上げた功労者です。現代絵画で有名な元永定正さんは、奥瀬さんの弟子である濱邊万吉さんに師事して絵画を始めました。

ぜひ、ご覧いただきたいと思います。

私からの発表は以上ですが、10月12日（土）に開催することとなっていた芭蕉祭が、台風19号により中止となりました。芭蕉さんの命日に行えなかったことは、残念でしたが、11月12日（火）に芭蕉さんの遺徳を偲び毎年開催している「しぐれ忌」に併せて、俳聖殿前で祭詞の奉納・献花等を行います。

様々な取組を通して、伊賀で暮らす私たちが世界に誇る芭蕉さんを偲ぶ姿を広く発信したいと思います。

主な質疑応答

【伊賀市本庁舎市民ミニギャラリー（11月展示）について（奥瀬英三ミニ回顧展）】

記者：奥瀬さんは、最後まで上野にお住まいでしたか。

市長：戦前に東京へ出ました。最後は埼玉でお亡くなりになりました。

記者：上野出身ですね。

市長：上野でしっかりとした洋画の指導を行っていました。

記者：上野時代に濱辺万吉さんを指導されたのですか。

市長：京都の商業学校を中退し、東京へ絵画修業にいき成果を挙げられました。大正12年の大震災後、上野でしばらく滞在し、地元の人たちに絵画指導を行いました。その時に立ち上がったのが「蒼丘会（社）」で、指導を受けたのが濱辺万吉さんたちの世代ということです。

2. 11月の主な行事予定

(1) しぐれ忌及び俳聖殿祭詞奉納等の開催

日時 11月12日（火）しぐれ忌：午前9時30分、俳聖殿祭詞奉納：午後1時

場所 萬壽寺、俳聖殿等

内容 式典等（詳細別紙）

担当 企画振興部 文化交流課（電話 0595-22-9621）

(2) 第15回伊賀市民スポーツフェスティバルの開催

日時 11月10日（日）開会式：午前8時30分、競技開始：午前9時

場所 競技種目の会場（詳細別紙）

内容 地区別対抗戦、9種目を市内11会場で開催

担当 企画振興部 スポーツ振興課（電話 0595-22-9635）

(3) 2019 忍者の里伊賀上野シティマラソンの開催

日時 11月24日（日）開会式：午前9時00分

場所 伊賀市立上野西小学校（伊賀市上野丸之内112番地）

内容 第30回を迎える伊賀市最大のスポーツイベント

担当 企画振興部 スポーツ振興課（電話 0595-22-9635）

(4) 企画展示「水利の発展に尽くした西島八兵衛」の開催

日時 11月12日（火）～12月15日（日）午前9時～午後7時

場所 伊賀市上野図書館 2階 企画展示コーナー

内容 藤堂藩に仕え、日本一のため池 香川県の満濃池の改修や津市の雲出川流域の開削、伊賀の山畑新田や美濃波多新田の開墾を手がけた西島八兵衛に関する

資料を展示

担 当 伊賀市上野図書館（電話 0595-21-6868）

(5)「2019年11月 寺田市民館 じんけんパネル展」の開催

日 時 11月1日（金）～11月28日（木）午前9時～午後5時

※平日のみ

※12日（火）・19日（火）は午後7時30分まで延長

場 所 寺田教育集会所 第1学習室（伊賀市寺田 225 番地）

内 容 「一人ひとりが生きやすい社会のために～性のあり方から考える～」

担 当 人権生活環境部 同和課 寺田市民館（電話 0595-23-8728）

(6)「2019年11月 いがまち人権センターパネル展」の開催

日 時 11月5日（火）～11月21日（木）午前9時～午後5時

※平日のみ

※7日（木）、14日（木）は午後7時30分まで延長

場 所 いがまち人権センターホール（伊賀市柘植町 8898 番地）

内 容 「女性の人権問題」

担 当 人権生活環境部 同和課 いがまち人権センター（電話 0595-45-4482）

(7) 子育て広場「にんにんパーク」事業の開催

日 時 11月10日（日）・12月8日（日）午前10時～午前11時30分

場 所 上野南公園「にんにんパーク」内（伊賀市ゆめが丘七丁目 13 番地）

内 容 11月10日（日）にんにん音楽祭

12月 8日（日）にんにん体育祭

担 当 健康福祉部 こども未来課（電話 0595-22-9665）

主な質疑応答

【しぐれ忌及び俳聖殿祭詞奉納等の開催について】

記 者：「奥の細道紀行 330 年キャラバン隊セレモニー」が、何故、俳聖殿ではなく、このしぐれ忌でするのですか。

市 長：芭蕉顕彰のお祭りはいがまちでやって、（10月12日に芭蕉祭が中止となり）やり残してある式典などは、俳聖殿や「自然」芭蕉翁文学碑、芭蕉翁銅像、愛染院故郷塚などゆかりのところで献花等の式典をやることになっています。

記 者：奥の細道紀行 330 年キャラバン隊セレモニーはどのようなことをするのですか。

市 長：（4月に）上野天神宮の前で採火をし、大垣市にお渡しをしてゆかりのまちのイ

ベントに分火をしていくという中で今回戻ってきて、伊賀市へ分火するというような形です。

3.その他

主な質疑応答

【伊賀越資料館の再開について】

記者：今日（11月5日）、午前中に行われた「伊賀越の仇討ち」法要で、伊賀上野観光協会会長が今年3月末から休館している「伊賀越資料館の再開を行政に要望していきたい。」とおっしゃっていましたが、市の方針はいかがですか。

市長：熱心なご意向は大変有難いと思います。これは、いろんな方のご助力・ご理解がなければ建物だけを直しても継続して運営していくということ、皆さんに見ていただくことの難しさはなくならないため、建物の修理修繕、運営のスキーム（仕組み）が必要です。

記者：3月の記事には「伊賀市は1年をかけてこの資料館の今後を検討していく」とありますが、検討中の段階ですか。

市長：しっかりと私どもも受け止めたいと思いますので。しっかりとしたご意見の表明を受け賜われればと思います。

【戸籍住民課の戸籍書類誤発送について】

記者：戸籍住民課が、住民の方の戸籍書類を誤発送した10月30日に報道発表があった件で、市としての受け止めを伺いたいのですが。（市内に）同姓同名の人がおり、誤った人の戸籍資料を依頼のあった自治体に送付したことによって、（その自治体から）誤った人へ納税通知書が送られたということですが。

市長：色々なファクター（要因）が重なり、そのようなことになりましたが、大変遺憾に思うところです。ただ、「防げなかったのか」ということでは、我が市としてしなければならないことも多々ありました。また、相手方の市でもチェックをすべき点があったとっております。要請する側、受ける側しっかりと緊張感を持ってこれからやっていかなければいけないと思います。

記者：（戸籍）端末は外部委託業者も触れるのですか。

戸籍住民課：端末自体につきましては、委託業者も触れます。事実に基づいて申請があり、その事実に基づいて証明を発行するという行為においては認められています。

記者：これは旧庁舎の時の約束事でもそのような内容に変わりはなかったのですか。

戸籍住民課：はい、変わりはないです。

【女子サッカーリーグのプロ化について】

記者：伊賀FCくノーが4位でリーグ戦を終え、過去最高ではないが6年ぶりの好成績でした。女子サッカーリーグが、早ければ2年後にはプロ化して経営をする

という。そのプロリーグに参加するか否かは、それぞれのチームの判断ですが、伊賀FCくノーとしては、プロリーグに参加したいという意向を持っている。プロリーグのチームなら日本代表にも選ばれるだろうし、まずそのプロ化について伊賀市としてはどう関わっていくのか。どういう応援ができるのかという今の考えを教えてください。

市長：今は、ラグビーもプロ化の話が出てきたりしていますが、「プロ化するのが即いいのか」というと、アマチュアリズムに徹して、地域の声援を受けて頑張るといようなやり方もありうる話だと思います。プロとしてやっていくなら、まず自力を付け安定的な成績を収めていくといような状況でないですね。なかなか私は持続的な面を注視すると「難しいのではないかな」といふふうに思います。ただ、監督の下でリーグ戦4位や、国体連続制覇とか、そういう確たる成果をもう少ししっかりと続け見極めていった上で本当にプロ化して経営として成り立つのかどうか、プロのチームとして存続できるのかといような見極めがまず大事なのかと思うところです。

記者：チームとしては努力したと思われるのですね。一昨年の最下位から4位ということ。

市長：そうです。

記者：観客動員数が、一昨年は400人台だったのが今年は平均860人で、安定的な試合の成績もあるし、その動員数の収益でチームとして努力はされて一定成果を挙げていると思います。GMの話では「プロチームを1年間安定的に経営するためには、1試合平均5,000人が必要。」ということです。1,000人は達成しそうだといところですが、上野運動公園競技場のスタンドは2,000人で満席になると。この点については伊賀市としてどう思われますか。

市長：今、1,000人ということですから、倍の2,000人にするといような実績、しっかりとエビデンス（証拠・根拠）が積み上げられていった段階で自ずとそういうことも考えていかなければいけないと思います。5,000人という数字が出てもなかなかそれは難しいだろうと実際のところは思います。頑張ってもらいたいことはほしいですけどね。だから、要は、何で観客が増えるかといと、強いチーム・魅力あるチームだったらいいのではと思います。

記者：そうすると、2021年とこわか国体には間に合わないですね。女子サッカーの会場でもあるし、プロ化が早ければ2021年とかね。

市長：今日この段階では難しいでしょうね。

記者：チームとしての努力は認めてくださいますか。

市長：それは認めますよ。崖っぷちから2軍から1軍に返り咲いて、それで赫々たる成果を挙げてきているわけですから。いわゆる伊賀地域のチームですから応援しますよ。

記者：それともう1つ。GMが指摘された（伊賀FCくノーのホームグラウンドの陸上）トラックは全く使ってないですね。

トラック数が足りないらしいです。路面も走れる状態になってないということ。トラック部分を仮設でも構わないので座席にするだけで 5,000 人の収容人数は取れると思います。

（トラック改修に）いくらぐらい掛かるのか。また、残すべきなのか観客席にしてもいいのかという検討は今から始めてもいいのではないですか。

市長：おっしゃる通りトラックをどうするのか、サッカーのためにするのか。その辺りも含め、あらゆる観点から納得のある考察を進めていくということがまず大事だろうと思います。

【市長選挙への出馬意向について】

記者：来年の今頃は、告示か告示直前になります。1年間経ってどうですか。

市長：以前から申し上げているように、これまでの4年・5年・6年・7年の成果を市民の皆さんからどのように評価をいただけるのかということ。それからもう1つは、私の責任においてやらなければならない事業がどの程度進捗しているかということが、2つのファクター（要因）となっていこうと思います。

記者：決断のリミットどの辺りですか。

市長：来年の9月議会終わってからでしょうね。それとやはり第3のファクターは、議会のスキーム（仕組み）がどのように変わっていくかっていうことも踏まえないといけないと思います。